

町民に過度の負担を強いているのでは

事務事業を見直した予算編成で

質問 「協働のまちづく

り」で町民へ過度の負担を強いていないか。

地域内分権に伴う限界は、どこまでが住民に任せられるか。

考えています。

削るだけではなく、伸ばすものは伸ばして行く

姿勢を18年度予算で取っています。

その他の質問事項
・ 税収増につながる施策と予算付けについて

答弁 行政が行う住民サービスでここまでやれば十分と言う基準はありません。

当たり前と思われるような事務事業も、ある時は縮小や見直しなどが必要になるものもあります。聖域と言われた分野でも積極的な見直しが必要と

考えています。行政の一方的な働きかけによるものではなく、地域と共に労力を出し合

って、合意の上でまちづくりをして行こうというものであり、大きな負担は生じないと考えています。



小池久長 議員



神代 諸水橋

釜無川の直轄区域の拡大は 県の指導を受けて取り組む

質問

机から国境橋までの区間は直轄区域でないが、現状と課題は何で、今後の取り組みについてどう考えるか。

その他の質問事項

・ 分団配備の消防車、消防器具の活用状況
・ ローラースケート場建設
・ 各集落からの要望への対応

答弁

釜無川は神代の諸水橋を境に、上流を国土交通省、下流を県が管理している。直轄区域の拡大には長野、山梨両県の調整と国土交通省での調整が問題となる。

・ サルが人を襲う心配がある。その対応について

諏訪建設事務所は、両県やその他関係機関との調整も必要であり早急に結論は出ないとの事ですが、今後は長野県を通し、指導を受けながら取り組んでいきます。



小池一夫議員